



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 藪内 茂行
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長(氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,316	△16.9	23	△5.4	16	0.1	0	△99.8
2020年3月期第3四半期	3,989	△1.3	24	85.1	16	89.3	13	△47.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 10百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	0.00	—
2020年3月期第3四半期	1.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,315	1,197	21.6
2020年3月期	5,457	1,198	21.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,149百万円 2020年3月期 1,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	1.00	1.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	△17.2	35	△27.1	25	△30.6	5	—	0.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	12,317,000株	2020年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	549,004株	2020年3月期	549,004株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	11,767,996株	2020年3月期3Q	11,767,996株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、国内外の経済活動は停滞し、企業収益が減少し景気に大きな影響を与えました。一時的に、Go To Travel&Eatにより個人消費が上向き、また輸出等経済活動は徐々に持ち直しつつありましたが、新型コロナウイルス感染症の三次感染拡大により、景気の先行き不透明性が長期化する状況となっています。

このような事業環境のなか、主たる事業である建設・梱包向のうち建設向は、当第3四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数が62.1万戸(前年同期間比9.9%減)と、利用関係区分のなかで特に、貸家や分譲住宅は大きく減少しており、少なくとも今年度中のハウスメーカーが手掛ける木造住宅は厳しい状況が続くものと思われま。一方、電気・輸送機器向ネジは、2020年4月以降、自動車メーカーの操業停止や輸出の大幅な落ち込みにより、ネジの需要は大幅に減少しましたが、2020年8月を底として、回復の兆しが見え始めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,316百万円(前年同四半期3,989百万円、16.9%減)、その内訳は建設・梱包向は544百万円減、電気・輸送機器向は128百万円減となりました。売上総利益は576百万円(前年同四半期670百万円、14.0%減)となり、雇用調整助成金を活用し、生産量を減産し、製造コストの削減を図ったものの、大幅な減益となりました。営業利益は、販売量の減少による運賃コストや営業活動費の低減により、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べ92百万円減少(14.3%減)したこともあり、23百万円(前年同四半期は24百万円)となりました。経常利益は16百万円(前年同四半期は16百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税が11百万円、法人税等調整額が1百万円であったことにより0百万円(前年同四半期13百万円の利益)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、釘を多く使用する2×4等の木造住宅の着工戸数は前年同四半期に比べ、消費増税による住宅需要の縮小に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少し、売上高は前年同四半期と比べ、544百万円減と大幅な減収となりました。利益面では、売上高の減少に伴い、生産量を減産し、製造コストを下げ、また販管費の圧縮に努めたものの、減益となりました。この結果、当セグメントの売上高は、2,592百万円(前年同四半期3,137百万円、17.4%減)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ25百万円減の123百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、緊急事態宣言の発令以降状況は一変し、自動車メーカーの稼働停止や自動車・家電等の輸出入の大幅な落ち込みにより、売上高は大きく減少しましたが、8月を底に9月以降需要は戻りつつあります。利益面は、建設・梱包向同様、売上高の減少に伴い、雇用調整助成金を活用し、生産量を大幅に減産し、変動コストを含む製造コストを徹底的に下げたことにより、利益を確保いたしました。この結果、当セグメントの売上高は、723百万円(前年同四半期851百万円、15.1%減)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ8百万円増の32百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

・資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,315百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比141百万円減)となりました。流動資産は、前年度末に比べ134百万円減少し3,253百万円となりました。これは、現金及び預金が121百万円、商品及び製品が107百万円それぞれ増加しましたが、需要の大幅な減少により、受取手形及び売掛金が377百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ7百万円減少し、2,062百万円となりました。これは、有形・無形固定資産の設備投資114百万円に対して、減価償却費が123百万円であったこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前年度末に比べ140百万円減少し4,118百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ365百万円減少し2,598百万円となりました。これは、需要減による支払債務の減少により、支払手形及び買掛金が95百万円、

電子記録債務が112百万円減少し、またその他が99百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ224百万円増加し1,520百万円となりました。これは、長期借入金が前年度末に比べ230百万円増加したこと等によるものであります。電気・輸送機器向において、岩手工場の建設資金及び新型コロナウイルス感染症による売上高の減少を補完する資金を借入れたことによるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は、前年度末に比べ245百万円増加し、3,062百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、1,197百万円となり、前年度末に比べ1百万円減少しました。これは、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が0百万円であり、その他有価証券評価差額金が7百万円増加し、配当金の支払いが11百万円であったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の21.2%から21.6%となり、1株当たり純資産額は98.09円から97.70円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月11日に公表しました「2020年3月期決算短信[日本基準](連結)」において、2021年3月期通期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響により、合理的な業績の見通しをたてることが困難であることから、経済活動再開の動きが見え始めたことを踏まえ、2020年11月2日に公表いたしました。その公表値の範囲内となることを見込めるため、修正しておりません。

2021年3月期通期の連結業績予想は、売上高4,500百万円、営業利益35百万円、経常利益25百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5百万円を見込んでおります。また、当期の配当金につきましては、1株当たり0.5円の期末配当金を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	615,567	737,134
受取手形及び売掛金	1,491,922	1,114,516
電子記録債権	185,755	159,620
商品及び製品	591,902	699,806
仕掛品	253,559	246,094
原材料及び貯蔵品	235,870	245,896
前払費用	11,956	12,463
その他	1,288	37,682
流動資産合計	3,387,823	3,253,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	438,771	605,045
機械装置及び運搬具(純額)	522,253	493,241
土地	733,542	733,542
建設仮勘定	136,050	380
その他(純額)	40,181	42,456
有形固定資産合計	1,870,799	1,874,665
無形固定資産		
ソフトウェア	42,797	29,977
その他	0	0
無形固定資産合計	42,797	29,977
投資その他の資産		
投資有価証券	37,579	47,919
長期前払費用	6,944	4,785
繰延税金資産	12,654	9,215
その他	110,650	107,541
貸倒引当金	△11,916	△11,871
投資その他の資産合計	155,913	157,591
固定資産合計	2,069,510	2,062,235
資産合計	5,457,334	5,315,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	608,605	513,552
電子記録債務	257,602	145,386
短期借入金	1,764,358	1,779,991
未払法人税等	17,632	8,050
未払消費税等	40,632	—
未払費用	51,477	39,034
賞与引当金	25,556	14,336
その他	197,539	97,814
流動負債合計	2,963,404	2,598,166
固定負債		
長期借入金	1,052,371	1,282,408
繰延税金負債	3,641	4,818
役員退職慰労引当金	47,330	40,937
退職給付に係る負債	188,582	188,330
資産除去債務	3,536	3,548
固定負債合計	1,295,462	1,520,043
負債合計	4,258,867	4,118,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	544,615	532,869
自己株式	△49,068	△49,068
株主資本合計	1,150,944	1,139,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,416	10,592
その他の包括利益累計額合計	3,416	10,592
非支配株主持分	44,106	47,448
純資産合計	1,198,467	1,197,240
負債純資産合計	5,457,334	5,315,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,989,251	3,316,157
売上原価	3,319,063	2,739,782
売上総利益	670,187	576,375
販売費及び一般管理費	645,660	553,171
営業利益	24,527	23,203
営業外収益		
受取利息	10	5
受取配当金	2,058	1,098
雇用調整助成金	—	60,535
その他	4,589	12,140
営業外収益合計	6,658	73,779
営業外費用		
支払利息	12,851	12,924
休業手当	—	54,578
その他	1,786	12,922
営業外費用合計	14,637	80,425
経常利益	16,548	16,557
特別利益		
投資有価証券売却益	6,301	—
補助金収入	10,000	—
特別利益合計	16,301	—
特別損失		
固定資産除却損	2,228	384
固定資産圧縮損	10,000	—
特別損失合計	12,228	384
税金等調整前四半期純利益	20,620	16,172
法人税、住民税及び事業税	7,296	11,356
法人税等調整額	△2,178	1,451
法人税等合計	5,118	12,807
四半期純利益	15,502	3,364
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,311	3,342
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,190	22

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	15,502	3,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,798	7,175
その他の包括利益合計	△16,798	7,175
四半期包括利益	△1,296	10,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,608	7,198
非支配株主に係る四半期包括利益	2,311	3,342

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,137,309	851,941	3,989,251	—	3,989,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76	11,723	11,799	△11,799	—
計	3,137,385	863,664	4,001,050	△11,799	3,989,251
セグメント利益	148,771	23,698	172,470	△147,942	24,527

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,470
セグメント間取引消去	△218
全社費用(注)	△147,724
四半期連結損益計算書の営業利益	24,527

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,592,555	723,602	3,316,157	—	3,316,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,769	3,769	△3,769	—
計	2,592,555	727,371	3,319,927	△3,769	3,316,157
セグメント利益	123,317	32,415	155,732	△132,529	23,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	155,732
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△132,529
四半期連結損益計算書の営業利益	23,203

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,264,993	△13.7
電気・輸送機器向	585,210	△21.7
合計	2,850,203	△15.5

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,513,484	△20.7	307,308	△12.5
電気・輸送機器向	712,403	△13.6	93,874	1.2
合計	3,225,887	△19.3	401,182	△9.7

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,592,555	△17.4
電気・輸送機器向	723,602	△15.1
合計	3,316,157	△16.9

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	802,055	20.1	656,672	19.8

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。